

2018 年 11 月 20 日 B グループ 関灘

山家悠紀夫『景気とは何だろうか』岩波書店 2005 年

第二章 景気を何でとらえるか

問題提起

全国企業短期経済観測調査から見る P70

「なお、非製造業・中小企業のうちで業況判断 DI がその平均を下回っている業種として 建設業、小売業、飲食店・宿泊 がある。もっとも厳しい業種である。」(P71L11)とあるがこれらの業種が厳しいのはなぜか。

選んだ理由:

非製造業・中小企業の中でもなぜこの 3 つの業種はもっとも厳しいのか、何か問題があるのでは
と思ったため。

D グループ:

中小企業は景気の影響を受けやすいが、その中でも建設業、小売業、飲食店・宿泊は同時期に
悪化した 家計の需要に左右されやすい から。

A グループ:

この 3 つの業種は 国内の需要によるところが大きく、不況の影響を受けやすいため。また、小売、
飲食・宿泊は労働生産性が他の業種に比べ低いことも影響していると考える。

B グループ:

この 3 つは家計との接点が多く、景気が悪化すると 消費に特に影響されやすい 業種であるため。

C グループ:

景気が悪化すると需要が減り、景気の影響を受けやすくなるから。

小林コメント:

建設業、小売業、飲食店・宿泊の 3 業種が国内の家計(消費)の需要に左右されやすいという指摘
は正しいけれど、この時期には大企業の業況は良かった(中小企業とは業況に格差があった)ので、
それを見逃さないようにしてほしい。